

# 「銀座線渋谷駅改良工事」編

開業から86周年を迎えた銀座線は、【伝統×先端の融合】をコンセプトに銀座線全線でリニューアル計画を実施しています。

今回のニュースレターは、銀座線リニューアル計画のうち、渋谷駅街区基盤整備の一環である「銀座線渋谷駅の改良工事」についてご紹介します。

## 総事業費 約1,000億円 銀座線リニューアル計画

東京メトロでは平成20年度から銀座線のリニューアルに着手しております。東洋初の地下鉄として東京の街をつないできた歴史を大切にしながら、最先端の技術を取り入れて発信していく「東京メトロ銀座線」という新しいイメージで、駅や車両などすべてをつくりかえるものです。銀座線リニューアル計画の主な取り組みは次の4つです。



①全駅改装 平成34年度完了予定 総額約500億円(④を含む)



②車両更新 平成28年度完了予定 総額約350億円



③ホームドアの設置 平成30年度完了予定 総額約70億円  
※大規模改良駅を除く



将来の新・銀座線ホーム位置のイメージ

④渋谷駅の移設工事 平成33年度完了予定 総額約100億円(当社負担分)  
※他事業者分含む総工事費 約290億円

## 銀座線渋谷駅の現状

昭和13年12月に開業した銀座線渋谷駅は75周年を迎えました。かねてから東京の西の玄関口として今では1日平均約21万人のお客様に利用されております。しかし、昭和13年の開業以来大きな駅の改修は行っておらず、幅の狭いホームやわかりにくい通路、上下の移動が多い構造でありながらそのほとんどが階段、東京メトロで唯一「トイレ」の無い駅であるなど、安全、サービスの面で大きな課題を抱えています。

この状況を改善するため、東京メトロでは渋谷駅街区基盤整備と連携して、銀座線渋谷駅の「リニューアル」に着手いたしました。



開業時から変わらないホーム



上下移動はほとんど階段



トイレの無い駅構内



これまで。そして、これからも。  
もっとうれしい東京に  
<http://tokyometro10th.jp/>

東京を走らせる力



## 渋谷駅街区基盤整備とは？

渋谷駅周辺では、駅街区の区画整理や鉄道の改良事業と連携して抜本的な再開発が行われています。平成25年6月17日に渋谷駅地区駅街区開発計画など3つの事業に関して都市計画が決定されました。

駅周辺で最大級となるオフィス（貸床面積約7万㎡）と商業施設（店舗床面積約7万㎡）をあわせもつ3つの建物を建設し、最も大きな地上46階建ての東棟の足元には、副都心線への新たなアクセスルートとして「東口アーバンコア」を整備し、縦移動のわずらわしさを一気に解消します。また、駅の東西を結ぶ自由通路を拡充し、駅から宮益坂上と道玄坂上の双方に結ぶスカイデッキを整備。さらに、災害時には帰宅困難者を受け入れる機能の整備など、安全で快適な「渋谷」へ生まれ変わります。



新「渋谷」のイメージ

## 東へ約130m移設 銀座線ホームをリニューアル

現状の課題を改善するため、銀座線渋谷駅は渋谷駅街区基盤整備に合わせてリニューアルを進めています。

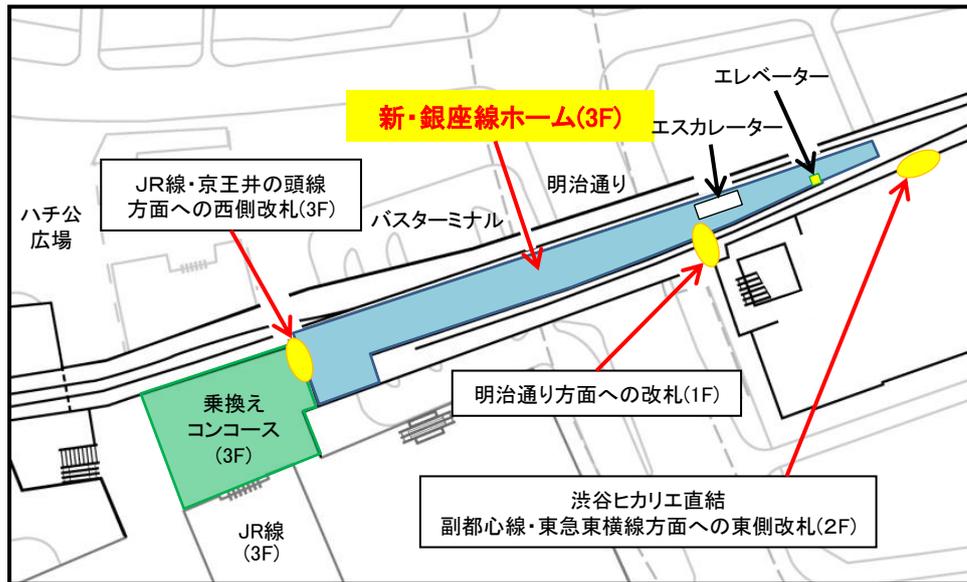
現在の渋谷駅は東急百貨店の3階に位置していますが、現在の位置から表参道駅方向へ約130m行った東口広場や明治通りの上部に新しい「銀座線渋谷駅」を新設するという総工費約290億円の大規模な工事です。

現在2つあるホームは乗車用と降車用に別れておりましたが、新しいホームは島式と呼ばれる2つの線路に挟まれた構造のホームとなり、今までの乗車用と降車用の区別が無くなります。これにより、行きと帰りで通る改札が同一となるので、わかりやすくなります。

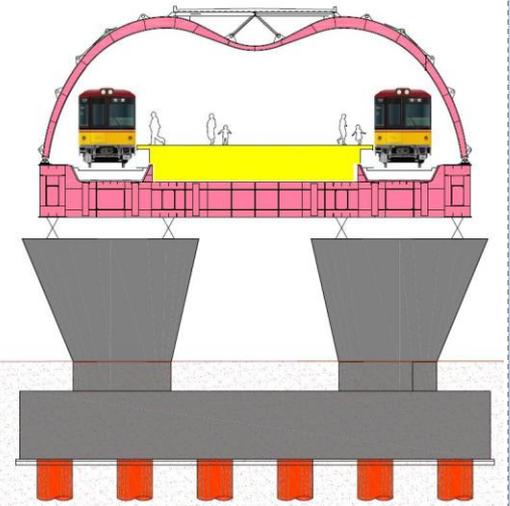
また、新しいホームはJR線と渋谷ヒカリエの間に位置し、JR線などを利用する方は、同一階の「乗り換えコンコース」へ直結する西側の改札を利用することが可能になり、副都心線などを利用する方はエスカレーター、エレベーターを備えてヒカリエと直結する東側の改札を利用することが可能になります。

あわせて、本工事により、現在、東口広場及び明治通りに7基ある銀座線の橋脚が3基となります。橋脚を減少させることで高架下の空間を広げ、駅前広場空間の拡充や道路交通の円滑化を図ります。

駅移設工事完了後には、ホーム幅は従来の約1.7倍へ幅幅しホーム上での混雑を緩和させるほか、ホームドアを設置することで安全性も向上いたします。



新・銀座線ホーム平面図(イメージ)



新・銀座線ホーム断面図(イメージ)

※すべてイメージ図です。今後、変更となる場合もございます。

## 今後の工事計画

現在は将来の銀座線が走る桁を架設するための作業スペースとなる「構台」の設置工事を行っております。

今後は、引き続き銀座線の列車運行を確保しながらレールを受け替える工事桁の工事を行うとともに、構台設置工事完了後、ヒカリエ脇の民地部に新たな橋脚の築造を行ってまいります。

本工事は「新設」とはいえ、営業中の路線を生かしたまま工事を進めるという非常に難しい工事となっております。引き続き、新・銀座線ホーム使用開始に向けて、列車の安全、安定運行を最優先に無事故で工事を進めてまいります。



現在進行中の構台設置工事